

小倉理事長を囲んで ～麻布大学同窓会高知県支部～

【同窓会開催の概要】

- *令和6年11月3日午後5時、安芸市のホテルTAMAIにて高知県支部の通常総会、懇親会を開催。大学から昨年に引き続き小倉理事長を招聘。
- *会員数47人中9人の出席。欠席の委任状ハガキ26通。
- *議案書の説明：会費納付状況や一般会計収支、本校開催の定例代議員会や四国ブロック会議の報告など。なお、高知県同窓会の会計年度は10月1日～翌年9月30日。次回開催は、令和7年10月頃に高知市(葉山)にて予定。
- *野村・政岡両先生が揃い踏みで、御二方ともお元気で何よりでした。野村先生に大学時代の病理実習の顕微鏡試験に「ネグリ小体」の封入体が出題されことを聴くと、それは狂犬病への警鐘を鳴らす意味があったと熟慮されていると思った。
- *来賓の小倉理事長から大学の近況報告の中で、獣医保健看護学科が人気を博し、沢山の受験者があったことや動物医療センターが改築され最新のCT装置等が設置されていることや他の私学では経営が苦戦しているところもあるが、我が麻布獣医学園は黒字続きであるとのこと。
- *今回の通常総会にて役員の変更があり、若返りを図る意味で会長、副会長、理事の多くの交代があり、私野村が首班指名され会長となりました。これからは、活気ある支部運営に努め、会員の相互の親睦と麻布大学の発展に努めてまいりたいと思います。それから、出席した同窓は皆、同窓会本部と共に、母校発展の一助となるべく、決意を新たにしました次第です。
- *いつものお約束の言葉ながら、県外の同窓の皆さん、
高知に来てナイショで素通りは、坂本龍馬と高知県支部が「許さんぜよ！」

(高知県支部事務局 野村泰弘)

